

ロール カーペット

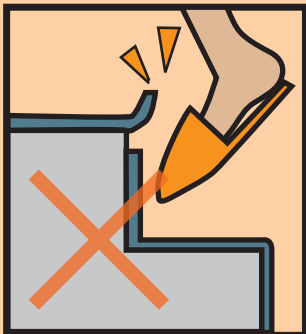


ロールカーペットの性質

ウールやアクリルなどの紡績系のカーペットは遊び毛が出ますが、これは品質上の欠陥ではありません。

汚れが付着した際には、即座に汚れが広がらないように注意しながら拭き取ってください。時間の経過と共に除去しにくくなります。

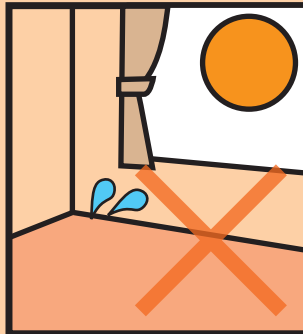
使用上のご注意



カーペットの弛み、めくれ、ジョイントのほつれなどが生じた場合は即座に補修してください。

放置しておくと全体に影響が及び美観を損なう他、転倒事故招く可能性があります。

特に階段部での弛みなどはツマズキによる事故につながりやすく、注意が必要です。



長時間直射日光が当たる場所では、パイルが変色・褪色する可能性があります。カーテンなどで日除けをしてください。

ビニル系 床材

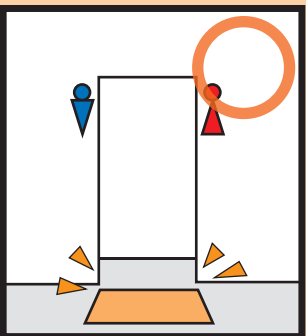


日常の清掃

まず、ほうきや掃除機で床面の埃・砂を取り除いてから、固く絞った雑巾やモップで水拭きして汚れを落とします。

水拭き後、床面に水分が残ると、滑りによる転倒事故や、再汚染の可能性があるので、歩行量の多い場所では一日の清掃回数を増やすなど、状況に応じたメンテナンスシステムが必要です。

汚れの予防



屋外・トイレ・厨房に通じる入り口や飲食物の自動販売機など、床材を汚す原因が付近にある場合は汚れの持込や広がりを防ぐ対策が必要です。

最も効果的方法は、マットの設置です。

マットは、最低限4歩程度の大きさが無ければ効果は期待できません。

又、汚れたマットの放置は、マットが汚れの集積場になり、かえて周囲に汚れを持ち出すこととなります。

歩行量やメンテナンス回数に応じた大きさと交換が大切です。



ワックスは、床材表面に皮膜を張ることにより、床材そのものが直接汚れたり傷つくのを防ぎます。

日常清掃で汚れが取れなくなってきたら、専用のクリーナー(各メーカー)で表面の汚れを落としてからワックスを再塗布します。塗り過ぎや、塗りむらに注意が必要です。

床面がかえて汚く見えます。ワックスを塗り重ねていくと、壁際や家具の周囲などでは、歩行によるワックスの剥がれが無く、かえて汚く見えることがあります。

そうなったらリムーバーで古いワックスを完全に除去してから、新しいワックスを再塗布します。

この作業によって、古いワックスごと、汚れキズなどが取り除くことができます。